



WEEKLY REPORT No.1344

<本年度クラブ会長方針>

和をもって輪となり、話をもって和とする

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 照井 葉 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 林 順治 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

人類に奉仕するロータリー

<2016-17年度 R.I.テーマ>
R.I.会長 ジョンF. ジャーム

第1574回例会

平成28年7月7日(木)
会長幹事所見

於 名古屋東急ホテル

出席計算数 会員 54名

47名中43名出席
出席率 91・49%

前々回出席率 94・00%

例年プログラム

★新旧会長・幹事バッジ交換

★委嘱状伝達式

★青少年奉仕クラブカウンセラー

★武藤青少年奉仕委員長

★派遣青少年交換生お見送り案内

★渡辺社会奉仕委員長

★大須大茶会アンケートのお願い

★名古屋市内25RC

社会奉仕委員長会議報告

★渡辺前年度青少年奉仕副委員長

★AMIGOもどち計画活動報告

★会長幹事所見

ロータリーソング

「君が代」「四つのテスト」

指揮者 前田 隆久

ピアノ伴奏 富板 玲子

ミニボックス

新しい一年、三つの「わ」よろしく
お願ひします。 照井 葉

いよいよ始まります。一年間宜しく
お願ひします。 林 順治

照井会長、林幹事、役員の皆様、
御苦勞様です！ 岡部 快圓

草野 勝彦・田崎 雅三

小澤 幸男・前田 隆久

照井会長、林幹事、一年間、くろう
さまです。 高木 政義

今年度SAAをさせて頂いたさま
す。よろしくお願ひします。

本年度もよろしくお願ひします。

吉田 明夫・浅野 彰

酒井 修

照井会長、林幹事、一年間宜しく
お願ひします。親睦活動委員会、

一年間頑張ります。大原 敏正

照井さん、林さん、楽しんでくださ
い。 木村 光徳・横井 衛

吉田 憲一・堀江 英弥

照井会長、林幹事、お願ひします。

クラブ奉仕委員会もがんばります。

丹下 富博

前年度クラブ奉仕委員の皆様、打
ち上げ参加できなくて大変失礼し
ました。 東滝 卓也

会長・幹事所見、楽しみにしてお
ります。 宇野 史仁

ベスクロで優勝しましたーうれし
いです。 神野 邦利

楽しい一年でありますように。

松本 哲朗

会員組織委員会、一年頑張ります
のでよろしくお願ひします。

照井丸の船出ですね!! 宜しくお願
ひします。 杉本 忠夫

メンバーにめぐまれゴルフ例会2
位になれました。ありがとうございます

大上 晃延

います。

ブルブルから私が文字通り大きく
なって帰ってきました。お出迎え

頂いた皆様ありがとうございます

た。 渡辺 観永

AMIGOもどち計画、7月2日

から金山南ビル1F(全百聖ホテル

で開催しております。明日までで

すので是非一お手伝い頂いた皆様

ありがとうございます。

渡辺 観永

葉さあーん、順治さあーん、一年

楽しみにしています。今日は七夕さ

まーステキな日の始まりです。ワ

クワクワ! 女子! 会員一同

本年度一年間よろしく。

会場運営委員会

会長挨拶

照井 葉

いよいよ新しい一年が始まりま
した。田崎さん、酒井さん、丹下
さんは肩の荷が下りてホッとし
ていらっしやることと思います。激
動の一年間お疲れさまでした。

2003年7月3日に名古屋大

須ロータリークラブ初の女性会員



として入会以来、例会で先輩諸氏
にお会いすることや、お話を聞く
ことが楽しくて、自分にとって毎
週木曜日の例会は「憩いのひとこ
き」になっていました。まさかこ
のような、会長としてご挨拶する
機会が巡ってくることは夢にも思っ
ていませんでした。

2014年9月18日に高木先
生から会長就任を打診され、「お受
けしていいものか」と、私にし
ては珍しく躊躇したことを覚えて
います。ちょうどこの日は愛知県
芸術劇場で行われる名フィルのコン
サートに誘われていたので、「オ
ークストラを聞きながら冷静に考
えよう。」と思いました。演奏され
る曲も知らずに行ったコンサート
でしたが、プログラムを見て思わ
ず苦笑いしてしまいました。プロ
グラムの中に、なんと「ドヴォル
ザークの新世界があったのです。
」まさかこのタイミングで新世界
を聞くことになるなんてー!とこ
の偶然的重なりには本当にびっく
りました。「新しい世界に一歩踏
み出さない」という啓示だった
のかも知れません。

その翌日、会長就任をお受けし
てから今日まで、林幹事や皆様の
サポートで準備万端整えることが
できました。あとは、私自身がこ
の一年を楽しむことが大切だと考
えております。

後ほど会長所見でお話したいし

ますが、難しい問題も抱えている我がクラブですが、皆様のご協力できなやかに務めていきたいと思っております。副会長 吉田憲一さん 幹事 林順治さんと力を合わせて参りますので一年間ご協力よろしくお願い致します。

新旧会長・幹事パッシ交換



**委嘱状伝達式
・青少年奉仕クラブカウンセラー**



会長所見

会長 照井 葉

16・17年度活動方針についてお話しいたします。会長方針は「和をもって輪となり、話をもって和とする」です。一人一人の力が足し算されて和となり、それが繋がると輪となる。一人一人が話をするごとにお互いを理解することに繋がります。和、輪となる。

2003年に入会以来、この名大須ロータリークラブの活動に参加して得たものを言葉にしてみました。和・輪・話 この三つの「わ」になりましたので、それを会長方針に入れることにしました。一人一人の力が足し算されて和となり・・・となっておりますが、今年度スタート時の名古屋大須ロータリークラブ会員数は過去最少人数54名です。これは創立当時の56名より少ない会員数です。

名古屋大須ロータリークラブ33年の歴史の中で、有意義な社会奉仕活動や国際奉仕活動などを行ってきましたが、会員数の減少は、この活動に影を落としています。筋力の衰えに似て、いつの間にか動けなくなったというのでは、もどかしさが募ります。

5年先10年先を見据えたときいま会員を増やさなければ存続の危機につながることを考え今年度の最優先課題は「会員増強」としました。誰でもいいから入会してほしい

いつ安易な考えではありません。少なくとも 会員自身が推薦したいと思つた人の人柄をよく知ることや、ロータリークラブを理解しようとする姿勢がある人など、皆様の人生経験の中で培った「人を見る目」を信じて、入会へと結び付けていただきたいと思います。

このままでもいいという気持ちは即一衰退につながる言われまますが、名古屋大須ロータリークラブは、この瀬戸際に立っているように感じます。一部のメンバーだけが活動して忙しい思いをするのではなく、バランスの取れたクラブ運営ができるよう、メンバー一人一人が会員を増やす努力をお願いいたします。

会員組織委員会は杉本委員長がすでに活動を開始しており、それなりの手こたえを感じておりますので、近いうちに入会希望者の紹介ができる予定です。今年度最終目標は会員数80名以上です。

例会のタイトルは「耳を傾けよう」です。「耳を傾ける」とは興味を持って聞くというニュアンスが含まれますが、例会で交わす会話は、卓話の中にも興味の芽はあるはずで、それをききかけに話が弾めば親睦にもつながるのではないのでしょうか？

今年度上半期は、法定休日と例会変更が多く、卓話を聞いていただく機会が少ないことが、ちよ



と残念ですが、すでに肩アナや女性の国際利酒師などをお願いしました。家族忘年会は文字通りご家族に参加していただけるような企画です。下半期には各異から興味深い話を聞かせていただける卓話家族旅行と炉辺会合(ファイアーサイドミーティング)を予定しています。

例会の冒頭にゲストビジターなどのご紹介を行います。これは会長挨拶の中で私自身が紹介いたします。ゲストビジターにとっても居心地のいい例会を目指します。今年度は海外に友好クラブを作りたいと考えております。気軽に

行き来できるアジアの国を中心に現在模索中です。友好クラブ提携に難しいルールはないようですから、挑戦する価値はありそうです。挑戦するといえは、クラブのホームページに英語のページを作りました。今のところ名古屋大須ロータリークラブの紹介と例会情報

バナーの由来を英文にして載せてありますが、近いうちに私の所信も載せる予定です。随時アップして

いく予定です。日本のロータリークラブで英文ページを持っているクラブは少ないので、海外からアクセスしてもらえらることを楽しみにしています。

今年度も地区補助金事業を行います。社会奉仕委員会の渡辺委員長が温めていらした大須地域振興事業で、大須観音を会場にした「和つと大須 大須大茶会」です。幼稚園児から学生・留学生・今どきの若者からお茶をたしなむ大人まで「ちよとお茶しない？」という気軽な感じで日本の伝統文化を楽しんでもらう企画です。

パストガバナー岡部快圓さんが大須観音での開催を快諾してくださったので、半分以上成功した気持ちで、現在各方面に働きかけています。メンバーの奥様やご家族にも参加していただきたいと思っておりますので、その節はよろしくお願

いします。R1規定審議会において今回大幅な変更がありました。これに伴い当クラブの細則も手直しが必要になりました。変更に向けての準備に入りますが、たたき台を作り皆さまにお知らせいたします。

以前地区の研修で、会長と幹事にアドバイスがありました。「会長は、知っていることも知らぬら。幹事は、知らないことも知っているふり。」これがクラブ運営のコツだそうです。林幹事をはじめ

各委員会がしっかりと動いてくださるので、私は安心し、知っていても知らぬふりに徹するようになっています。和をもつて輪となり、話をもちと和する。

この三つの「わ」を真ん中に、名古屋大須ロータリークラブの充実した一年を作り上げていきたいと思えます。皆様の協力をよろしくお願いいたします。

■幹事所見 幹事 林 順治

皆さんこんにちは。今年度クラブ幹事を務めさせて頂きます林順治です。昨日、嫁の実家の理髪店で髪を切り、森島羅紗店での日の為に新調したスーツをまとい、本日所見に臨みました。

私は入会6年目ですが、川畑年度の後半に入会させて頂きましたので、実質ロータリー歴は4年と2か月です。ロータリーの知識、経験、実績も乏しいこんな私が、歴史ある名古屋大須ロータリークラブの幹事として、この場で所見を述べさせて頂く事は大変



光栄ではございますが、それと共に物凄くプレッシャーを感じ緊張しております。私は現在45歳です。歴代幹事の中でも恐らく一番若いかな、それに近いと思われまます。皆様方に於かれましては、林幹事ではなく（我がクラブにはもう一人林があり、いつももう一人の林さんと呼ばれます）、出来ましたら、下の名前でご気軽「林、順治、順ちゃん」と声を掛けて頂けるや幸いです。先口ゴルフ部会の総会で、照井会長と離れた席に座っております。部員の大先輩から「幹事たるもの会長の影となり、会長が家に着くまで一緒におらなばならん」と指摘を受けました。皆様ご存知の通り、今年度の照井会長は名古屋大須RC初の女性会長であります。と同時に、その女性会長にお任せする幹事も初という事になります。ストーリー、セクハラと呼ばれる様一年間、照井会長をお支えし、しっかりと学び、クラブの為に全力で頑張りたいです。どうか、宜しくお願い致します。

さて、今年度照井会長は方針として「和をもつて輪となり、話をもちと和する」3つの「わ」を掲げられました。これは、私が幹事のお話を頂いた時からお聞きしておりましたので、会長方針につきましては私なりに考える時間が沢山ありました。

一つ目の和（平和のわ）とは、争

わない、和議、和睦。文化的概念で言えば、和風、和服、和食、数学的概念で言えば、足し算の結果。二つ目の輪（輪のわ）とは、曲げて円形にしたもの。又は人の繋がりを見立てて言う言葉。三つ目の話を交わすこと。古くは雑談を指すことです。と言う事は、「和をもつて輪となり、話をもちと和する」は「争わない気持ちをもって人の繋がりを含め、言葉を交わす事で更に争わない気持ちを持つ」と言う意味であり、即ち照井会長は名古屋大須RCを一枚岩にする事を掲げられたのだと解釈しました。

「和を以つて貴しとなす」と言う言葉がございますが、何事をやるにも皆が仲良くやり、諍いを起こさないのが良いと言う意味です。照井会長が掲げた方針を履行し、皆様方が互いに仲良く調和しているクラブにしたいと思えます。

そして、今年度の最優先課題は「会員増強」です。先程、照井会長からもお話がありました。今年度我がクラブは、名古屋大須ロータリークラブ33年の歴史上、最も少ない54名のスタートとなります。クラブ発足初年度56名、ピーク時には101名もの会員数でしたが、ついにワーストの記録でのスタートです。

人数もさる事ながら、最年長者85歳、最年少者32歳、平均年齢62.38歳、54名の会員数のうち、

4割弱が70歳以上と言う現状をどう受け止めるかが大切ではないかと思われまます。このままでは、5年後10年後、30名以下になっいてもおかしくないと思えます。たまたま単年度のみではございません。20年かけて減少傾向が続いております。

私が20年、30年前であれば、名古屋大須RCに入会したくても入れて貰えなかったのではと想像します。それは、質もそうですが志、倫理観の問題です。私を筆頭に若い世代が年々低くなっている感じがするからです。

私の営肥愛林会と言う会社は今年の秋で20周年を迎えます。始まりは私とアシスタント2名で、はやし接骨院（個人事業）からのスタートでした。その時、アシスタント2名募集と広告を打ったところ、100件の問い合わせ、50件の面接を行い、結果、採用2名でした。その2名は非常に志も高く、よく働いてくださり、今の当社の礎となっております。しかし、20年近くたった現在では、募集をかけても殆ど人が集まりません。

売の手市場だから駄目、買い手市場だから良いのではありませんか？20年前は名古屋大須RCに100名を超える会員が在籍したからと言う苦情が増えました。

売の手市場だから駄目、買い手市場だから良いのではありませんか？20年前は名古屋大須RCに100名を超える会員が在籍したから

良かった。今は54名だから駄目なのか？同じだと思います。状況の変化、環境の変化はほぼ皆同じです。何を目指し、どう人を作るのか？いくら社会に貢献している良い仕事であっても、人作りをしなければ存続出来ません。変化に対応し、人が作れる会社、クラブにしたいです。

「少ない人数でも、やれる事をやれば良い」と言う考え方もございます。これも勿論正しい意見だと思います。しかし、私はそれは結果論だと思います。なぜなら、ボランティアではなく業として行っているからです。理念に基づき、ビジョンを掲げ、それを理解し実践しなければならぬからです。その結果であれば、「少ない人数でもやれる事をやれば良い」は受け入れられます。

では、我がクラブは如何でしょうか？もしボランティア（奉仕のみ）の団体であれば、人数が減っても残った人間だけでやれる事をやれば、構わないと思えます。しかし、名古屋大須RCはボランティア（奉仕のみ）の団体ではないと思っております。

それは私が入会2年目の時に、岡部さんが愛知高校で挨拶された際の事でした。岡部さんが「ロータリークラブとは奉仕をする集団ではなく、奉仕をする人間を作る場なんだと仰られました。私はすぐにメモしました。その後、家族

や友人にロータリーを語る時、会員増強の際にも使わせて頂きました。

正直なところ、入会して一年間はいっせいでよいかと考えると楽しいと思いませんでした。しかし、岡部さんの言葉で、ずっとロータリーで頑張ろう、楽しいな、学びたいな、クラブの事が大好きになりました。こんな私でも、古い友人達から「40過ぎてから人が変わったな」考え方が変わったな」と最近よく言われます。40過ぎてからは、即ち、名古屋大須RCに入会してから変わったな」という意味なのです。鬼頭さんにもよく言われます。そして言われる事が嬉しくもありません。言われる度に、知らず知らずのうちに先輩方から学んでいるのだなと実感しております。

名古屋大須RCは「奉仕活動しながら、奉仕をする人間を作る団体」であります。数だけ増やす事が奉仕だとは思いません。しかし、奉仕をする人間の数が多ければ、もっと社会に貢献出来ます。ロータリーの存在意義が増します。仕事に於いて私の目標は、当社の理念「全ては笑顔のために」に基づいて100年企業にする事です。勿論、100年後に私は生きておられませんので、100年後後を見る事が出来ません。しかし、人材を育成する事（人を作る事）により、承継される事も事実であります。80年後、当社が100周年

を迎えた時、その代表者がその時、113年の歴史を持つ名古屋大須RCで活躍していくのを、そんな夢があっても良いのではないかと思います。私は100年続く名古屋大須RCにしたいです。それには会員増強は勿論ですが、何より先輩方の知識と経験を若い世代に承継して頂かねばならないと思っております。

最年長者が85歳では若すぎます。最年長者は100歳を超えてなければなりません。出席義務免除のお話をよく耳にしますが、あれはメークアップをしなくても良いと言っただけで出席しなくても良いという意味ではございません。若くても年をとっても出れるなら出る。出れないときは休む。引退なしと考えて頂きたいです。そうでないとな、名古屋大須RCは若い世代に承継出来ません。

昨日、ゴルフ部例会で三好Cに連れて行って貰いました。思った事が2つありました。1つ目は三好や和合、春日井等、普段行けないゴルフ場に行けるのは名古屋大須RCにいるからなんだな。自分達が先輩達の代になった時に若手は感じるかな？よいし仕事頑張っているかメンバーになろう！と、事業意欲が湧いた事です。

2つ目は一緒に回って頂いた3人の先輩方（いずれも70歳超えの大先輩）に驚いた事です。お上手なのは勿論知っておりますが、あの炎天下の中、暑い暑いと文句を

言いながら18ホールやりきった事です。私は、暑いからもう止めようと言われれば、即答でハイと答えたと思えます。それほど疲れませんでした。なのにその後の総会も出席され、2次会3次会と平気な顔をしてこなしていく姿を見て尊敬と驚きを隠せませんでした。そしてこのパワーがあれば必ずご協力して頂ける。確信致しました。

昨日、浅野さん、尾上さん連名での「70歳以上の会員全員集合!!」と、ドリフトの様な案内を拝見致しました。本当に感激致しました。田茶田茶嬉しかったです。何度も文章を読み返しました。名古屋大須RCのメンバーで良かった。改めて頑張るぞと言っ気持ちになりました。流石我が大先輩、これも語り継ぐべきものだと。

今年度、会員増強に力をいれませんが、誰でも良いから数だけ増やそうなのも思っております。質の低下、志の有無は否めませんが、これこそ会員全員で変えさせ、導く、育てる、人を作る事により、承継出来るのではないかと思います。その人材育成と承継を会員全員で行う事を前提にして、今年度は会員組織、会員増強の審査、過程を細かく、厳しく行っています。

具体的には、新入会員候補者の調査、会社訪問、委員会での協議をしっかりと行っ上で理事会に挙げる事を、杉本会員組織委員長と話し合い、共にやっっていく事となりま

した。厳しく細かく調査、審議すれば、間違いないのかと言われますと絶対ではないと思えます。しかし、照井会長が「このままでいい」と言っ気持ちでは即返返に繋がり、名古屋大須RCがこの瀬戸際に立っている」と仰られました。若輩ながら私もその思い、感じます。

皆様、企業の平均寿命はご存知ですか？23年です。企業のピーク平均年数はご存知ですか？7年です。更に創業100年を超える企業は何社あるかご存知ですか？2万社です。単純に企業数で割ると215社に1社の割合になります。この割合は勿論、世界一です。

我がクラブの中でも何社かあるとお聞きしております。54名の中でも何社かあると言っ事は、凄いです。レベルの集まりだと私は思います。そして何よりパワーも強い事です。100年の歴史を作ると言っ事は、不景気や恐慌、天変地異や戦争など、どうにもしがたい運命の脅威が外部要因として襲ってきます。しかし100年ともなると、そうした危機を乗り越えて必ず承継に成功している筈です。なぜなら次世代へのバトンタッチが上手いかなければ、淘汰されてしまっからです。

全会員の皆さん、一人が一人紹介して下さい。そして細かい厳しい調査をさせて下さい。そして目出度く入会した暁には、先輩方の知識と経験を是非、承継してやっ

て下さい。先輩方について参りませ。どうか名古屋大須RC100年計画にご協力ください。お願い致します。

最後にもう一点だけ、お願いがございいます。冒頭に名前が気軽に読んで下さいとお話しましたが、一つ注意点がございいます。私、皆様が見たままの気の弱い人間でして、きつく叱られますと一週間くらい悩んでしまっことがございいます。そして、照井会長始め、クラブにご迷惑をおかけする事になります。ですので、注意、苦情文句等に関しましてはなるべく優しいお声で、微笑みながら仰って頂きませう、なにとぞ宜しくお願い致します。

以上、幹事所見とさせて頂きませ。ご清聴有難うございました。

7月21日(木)例会の案内

委員長所見

クラブ奉仕委員会

委員長 丹下 富博さん

社会奉仕委員会

委員長 渡辺 観水さん

国際奉仕委員会

委員長 加藤口千彦さん

派遣青少年交換学生実行会

足立菜未香さん

広報委員会

吉田 隆彦

杉浦 令淑・近藤 明美

*本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。